プログラミング入門（１年生、前期）」の後半６回では、プログラミングの基本概念習得を目的として、Processing による簡単なグラフィックス作成の演習を行っています。Processing は、プログラマーやデザイナーが自分のアイディアをすぐに試すためのツールとして、Casey Reas と Ben Fry（当時 MIT メディアラボ所属）により、設計・開発されました。そのため、比較的短いプログラムを書くだけで、ちょっとしたグラフィクス作品を作成することが可能であり、その操作感には、昔、PC に付属してきた BASIC を思い出させるような手軽さがあります。下図は演習中に学生が作成した作品ですが、基本的には直線や曲線、あるいは矩形、楕円形等を描くコマンドと乱数の組み合わせで作成されています。プログラムを視覚的に理解しながら、論理を感性的に表現することもできるのです。

学生による制作例

研究紹介

電気を使わずに水を冷やす

建築・設備工学科　池鯉鮒研究室

建築・設備工学科 池鯉鮒研究室では、卒業研究テーマのひとつとして「放射冷却の利用に関する研究」に取り組んでいます。放射冷却は、冬の天気予報でよく耳にする言葉です。外気温は０℃より高いのに、路面から宇宙空間への熱放射（放射冷却）によって路面温度が０℃以下に下がって凍結してしまうという現象が、晴れた冬の日の夜から明け方にかけて発生します。このような放射冷却は冬だけでなく他の季節でも生じていて、その放射冷却を利用して冬以外の季節に、電気を使わずに冷水を作る実験を行なっています。そしてその冷水を空調の冷房用に利用できれば、と考えています。

屋上に設置された実験装置
（バックは太陽光発電システムの太陽電池パネル）

就職活動報告

ダイハツ九州（株）

機械システム工学科　西　亨佑
（八女工業高等学校）

私は昨年の年末から合同会社説明会や企業のインターンシップに参加するなどして、本格的に就職活動を始めました。就職活動を進めていく中で、どの企業でも面接試験は必ず実施され、一番重要視されている試験だと思います。そこで私が気をつけたことは、「自分を飾らない」ということでした。もちろん企業に対して自己アピールすることは大切ですが、自分を良く見せようとばかりしていると、逆に自分自身を見失ってしまうと思います。信念を持ち熱意を相手にしっかり伝える事こそが内定を勝ち取る一番の近道であると思います。これから就職活動を体験する皆さんは、自分の役に立つこと、ためになることは先延ばしにせずに行動した方がいいと思います。それが将来の自分へのアドバンテージになるはずです。

最後に、親身になって就職の支援をしてくださった多くの先生方に感謝します。本当にありがとうございました。

入試日程

▌前期推薦入試

出願期間	10 月 29 日（水）～ 11 月 12 日（水）
試験日	11 月 15 日（土）
合格発表	11 月 20 日（木）
試験地	本学・福岡・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島・那覇・松山・広島・大阪

▌中期推薦入試

出願期間	12 月 1 日（月）～ 12 月 17 日（水）
試験日	12 月 20 日（土）
合格発表	12 月 25 日（木）
試験地	本学

▌後期推薦入試

出願期間	1 月 5 日（月）～ 1 月 19 日（月）
試験日	1 月 21 日（水）
合格発表	1 月 24 日（土）
試験地	本学

▌ＡＯ入試

エントリー申込期間	9 月 1 日（月）～ 3 月 25 日（水）
出願日・面接日	エントリー受付後、入試担当者が出願に向けて相談を受けます。その後、出願日程、面接日を決定します。
合格発表	面接試験終了後後日通知
試験地	本学

久留米工業大学のモバイルサイト（携帯版）からも資料請求ができます。左の QR コードからアクセスしてご覧ください

クエスチョンズ

編集　第３号
発行日　平成 20 年 9 月
久留米市上津町 2228-66 広報課
TEL (0942)22-2345（代表）
FAX (0942)21-8770
http://www.kurume-it.ac.jp

トピックス

第６回全日本学生フォーミュラ大会参戦

久留米工業大学
フォーミュラプロジェクト
リーダー
交通機械工学科　４年生　西嶋 拓也
（下関中央工業高等学校）

９月 10 日（火）～ 13 日（土）の間、静岡県の小笠山総合運動公園 ECOPA にて第 6 回全日本学生フォーミュラ大会が開催されました。私達は昨年度大会から参戦しているため、今年は 2 年目となります。

私達は車両の軽量化とエンジンの出力の向上を図った新型マシンで大会に挑み、65 チーム中 21 位と昨年度より 30 位も上回る好成績をおさめることができました。

メンバー全員で必死に製作したマシンで良い結果を残すことができ、生涯の思い出となる素晴らしい経験をすることができました。

来年は更なる飛躍ができるよう、メンバー全員一致団結して車両製作に励みたいと思います。

フレッシュマンボイス
入学して半年が経ちました

機械システム工学科１年　佐藤　賢弥
（高千穂高等学校）

私は、小さい頃からアニメや漫画に登場する人間とロボットが共存する世界に憧れていました。そこで進学先を決める時、将来ロボットエンジニアになりたいと思い、ロボットの基礎や工学的知識を学べる本学を選びました。本学は学生と先生方のコミュニケーションが密で、楽しく勉学に励むことができます。初めて実習で溶接や旋盤を体験した時は、丁寧な説明と指導ですぐに慣れることができました。また、本学には「ロボット工房」があり、現在、この工房でロボットに興味を持つ友人とロボットハンドを製作しています。これからも色々なロボット製作に挑戦して行きたいと思っています。

交通機械工学科　１年　武藤　昌俊
（三池工業高等学校）

僕たちは、前期の講義で「工学基礎セミナー」という科目を受けました。この科目は、交通機械工学科の各教授の自己紹介と研究内容の説明が有り、さらに学生と教授の距離を縮めるのが目標になっています。

講義の内容は、「エンジンの基礎」、「車両工学実験室の見学」、「自動車とセンサー技術」、「ソーラーカーと燃費 50km/L のハイブリッドカー」、「自動車空力デザイン」など盛り沢山でした。また、九州三菱自動車販売へ工場見学に行き実際に働いているところや展示車を見て触ったり、技術者の方から話を聞いたりして車好きな自分にはとても興味を持ちました。これからの車に何が必要かなどの話が聞けて充実した講義でした。

環境共生工学科　１年　吉田清剛
（唐津青翔高等学校）

入学して半年たち、大学生活には大分慣れて、毎日が楽しく感じられます。もう半年が過ぎたのかと思うと、とても早いものです。

7 月からオープンキャンパスの TA としてビオトープを担当しています。先生に依頼され、自分自身でもやってみたいと思ったことがきっかけです。ビオトープで自然と接しながらの作業というのが自分の趣味に合っていて、来場者や先生、TA の先輩方とのコミュニケーションも楽しく、とてもやりがいのある仕事です。ただ、7・8 月は炎天下での作業だったのでとても大変でした。

将来的に環境にかかわる仕事に就きたいと思っているので、今回の TA での作業も含め、これからも環境についての勉強を頑張っていきたいと思います。

情報ネットワーク工学科　１年　大屋ちはる
（八重山商工高等学校）

入学から半年、当初とまどいのあった自炊や学校生活にもだんだんと慣れてきました。大学では、高校の時と違い一教科の授業の回数が少なく、毎回の出席が大切だなと感じます。所属している沖縄県人会では、エイサーを練習しています。先輩方も優しく、活動はとても楽しいです。大学で沖縄の伝統芸能のエイサーができること、そして久留米の方々にエイサーを披露できることを嬉しく思います。

大学生になって、まず自分の時間が多いことに驚きました。サークル活動やバイトにあてる時間も多くあり、自由になったと同時に自己責任も大きいなと感じます。今しか学べないことを積極的に学び、４年という時間を大切に過ごしたいです。

学科活動

３年生のトヨタ自動車九州（株）工場見学

交通機械工学科　教授　原田節男

夏休みだ！　夏休みの最初の月曜日。前期試験も何とか終わり、先ほどまでひどく降った雨も上がり新鮮な気持ちの朝だ。

予定より少し遅れて８時５０分に出発。目的地に到着後、案内スタッフの方より丁寧な説明を受け、映画、展示車両、説明パネルをみて、工場の概略を理解。この間、記念撮影もそつなく完了。工場ではハリアー、レクサスなどの高級車が整然とラインを流れていた。ここは最先端の自動車一貫生産ラインの大規模工場なので、その大きさに驚いた。作業者も設備も品質や効率、コストを大切にしていることがよく伝わって来た。見学後に昼食をとり、夕刻に大学に着いた。充実した見学会だったし、学生の見学マナーもすこぶる良く印象に残った。

教育創造工学科では野外活動の充実を図っています！

本学科では、中・高校の理数系教員を目指す学生が学んでいます。講義に加え実習・演習を中心とした活動を通して、自然科学の本質に迫ります。その一環として、１年生の野外実習では「河川調査」や「土壌動物調査」を実施します。

本年６月、大学近くの「広川」（福岡県八女郡広川町、筑後川の支流）の上流域で、河川環境の調査、水生動物や水辺植物の観察及び水質の化学的調査を実施しました。殆どの学生が未知の体験で、河岸から河床への環境や上流から下流への流程の変化を知り、またサワガニやカワニナの他ナガレトビケラ、タニガワカゲロウ、ゲンジボタルといった水生昆虫の幼虫を確認し、さらに化学調査で豊富な溶存酸素に驚くとともにｐＨや COD（化学的酸素要求量）の程度も調査し、充実した時間を過ごしました。活動終了後に「自然環境の要因と水生動物の関係」、「上流域と下流域との自然環境や水生生物の違い」等といった今後の課題が発表され、発展が多いに期待される活動になりました。

学生活動

トレインシステムシュミレータ開発

情報ネットワーク工学科　２年
江頭晃規
（ウィザス高等学校）

我々情報２年有志は大学側支援を受け、[トレインシステムシュミレータ開発] を行っています。これは、鉄道模型を PC で制御するソフトとモジュール開発を行うものです。本年度オープンキャンパス毎に目標を定め、日々の苦労や障害に正面から立ち向かい、もの作りに対する熱意を学習中です。

チームは情報・環境・大学院生の混成編成で、各員が自分の役割に囚われず柔軟に動くことを大切にしています。

将来的には学生アプリケーションコンテストに参加できる作品へと完成度を高めることで他大学生と技術力の競争ができるよう努力しています。

「九州地区国際学生会議」参加

大学院工学研究科　自動車システム工学専攻
武田 晃一
（松山工業高等学校）

外国人留学生との交流、理解を深めるきっかけを作るために７月 31 日から３日間、大分県九重町で開催された日本学生支援機構（九州支部）主催の九州地区国際学生会議に参加をしました。

「就職」をテーマに、日本人と留学生が、コーディネーターの助言を受けながら議論し、各分科会で全体発表会において発表を行いました。テーマは、学生の一番の関心事であったため、自分達の経験から思いを自由に語り合えたので、お互いの相違点をみんなで共有できたことは有意義でした。

学生会議を通して、異なる国籍の人たちと就職について議論し、同世代で意識を高く持った人たちと出会えたことは大きな刺激です。相互の文化交流では、語学知識だけではなく、相手に自分の考えを伝えようとする熱意の大切さを認識しました。

授業紹介

プログラミング入門

情報ネットワーク工学科